

刊夕日四十月四



刊日

定価一部全紙... 発行所 常新日新聞社

青年團の本質と 其の使命

平青年團N生投

併し青年と同じレベルは立ち「さあ兄弟一緒に行動しよう」と手を執つて呉れる人が餘りに少ないと思ひます青年を命令で動かさうとして、地位や権力で抑へて見ても駄目であり、高壓でも一方は動きもせず、然し其の壓力が無くなれば直ぐに燃りが戻つてしまひます。所謂模範青年團が永續しないのも原因はここにありはしないのでせうか、かく言へばとて決して青年團に指導者がいらぬといふのではあります。

未熟未成體験も批判力も共に乏しい青年であります、何處迄も名士先輩の援助を仰がなければなりません、併しその主體は青年自身でなければならぬ、人に引きずられ他から後押しされるので無く、自分の足で立自分で歩まなければならないと思ひます。

「僕等がやらう、僕等やらう」これが吾等の標語であります。青年團は修養機關であると同時に相互の社交機關であります。青年には青年特有の心理があります。親に

も兄弟にも語れない惱みがあり、苦しみがあります。かうした同じ心理の人々が共に語り合ふ事に依つて其處に言ひ知れぬ慰藉を感じ喜びを味ふのであります。

其の間に力強い團結も出て來るのであります。封建制度の遺風の爲めに日本人には縦の道徳——親子君臣、師弟等の道は力強く強調され、訓練されて來たけれども、横の道徳——社會道徳はなつて居りません。社會公共心の養成——これが又青年團の大きい使命でなければならぬと思ひます、現代は經濟的にも精神的にも孤立を許さぬ時代であります。

農村問題解決の鍵も團結にあり、數は力であり、輿論は數に依つて造られます。正義もこれに力が伴はなければ單なる正義の説明に終ります。

吾等はこの青年團生活の中に於て第二の國民としての團結心を養はなければなりません。

「大いなるものゝ力に引かれ行く我が足あとのおぼつかなしや」例へその足どりがおぼつかなくとも、共に手を取り合つて、大いなるものに向ひ、眞直に進んで行かうではありませんか

(完)

大塚の 學生靴!!!

耐久新製品
編上靴 六〇〇
半靴 五〇〇

不安心なるキカイ靴より、安心得る弊店の靴を.....

大塚支店製靴部
電話七七番

美味!
芳醇!

宗正らひた

山崎合名會社
電話一〇番

サートン 萬年筆
無代進呈!!!

學生用責任付の腕時計
お買ひ上げの方に.....

修繕半額
ガラス入替金五錢

秋山時計店

平驛前

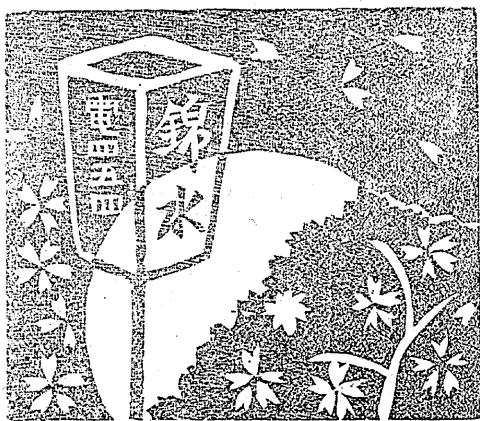
御花見辨當

御重入辨當

割烹仕出し

錦水

電四五四



魚清食堂部改築御披露

◇階上新築食堂は皆々様を御待ちしてゐます
何卒御立寄下さい
例年の通り



最大魚折詰.....二十錢より

勉強 壽司折詰.....二十錢より
本年の折箱は特に最新式の文化折箱を使用致します

■多數は特に御相談に應じます

せ印 魚清食堂折詰部

平町字二丁目
電話六三三番

お客様本位の.....

好適の眼鏡



正雁時計
平一當盤屋時計店

●小兒下痢一切小兒腸胃散● 堀 藥局
平町二丁目
電話三二六番

高久病院

院長 醫學士 高久 忠
副院長 新潟醫學士 赤羽 清
藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄
内科小兒科 外科花柳病科
耳鼻咽喉科 レントゲン科
平町田町 電話五一三番

■産名城磐■

らか鹽と節鯉



店理代平命生本日本最優最
榮盛賀志
番一二三電 目丁四平

配達敏速

消防聯合檢閲に

光榮輝く人々

あす四千餘の組員中から 選まれて表彰

既報平署管内四町十ヶ村の 春期聯合消防檢閲は明日午 前八時より平町に於て執行 する、若であるが當日集合 する四千餘の消防組員中夫 々の功勞に依つて石城消防 協會長伊藤義一氏より表彰 さる、光榮を擔ふは左記の 諸氏である

- 田熊造 鈴木義雄 坂本 國治 坂本春吉 津島正 雄 作山得雄 作山長吉 馬目輝英 加藤正 吉田 三十郎(豊間)大峯友彌 政井富雄 遠藤清助 四 家税之助 鈴木春吉 山 野邊朝治(高久)本馬武 矢吹文郎 猪狩武男 吉 田海造松 室谷茂 鈴木 半作(夏井)松本峯雄 渡 邊惣藏 小泉保 鈴木武 夫 坂本茂長 鈴木正義 坂本義正(神谷)鈴木房儀 志賀重義 渡邊清 阿部 政義 松崎幸太郎 片奇 直政 佐川龜次郎 會川 壽松 酒井義輝(飯野)山 野邊林藏 鹽要太郎 江 尻政義 志賀典忠 草野 利吉 鈴木竹男 小泉徳 治(平窪)鈴木盛信 薄葉 庄憲 西山助治 國府田 忠男 吉田甚一 鈴木勇 佐々木房義 矢内初太郎 (上小川)菅野豊重 佐藤 定元 柳内松良(下小川) 白石示 箱崎甚之助 茂 木庄太郎 吉田美亥 吉 田彌太郎(赤井)小野三興 登 鈴木分利 川井保 一 佐藤甚平 大平政義 谷口福次郎(好間)猪狩芳

江 中山榮 鈴木喜久彌 萩野喜司 鈴木好雄(永 戸)阿部市三郎 吉田誠 一郎、青木久七郎 葉谷 久光 萩野久藏(箕輪)吉 田兼松 小沼政雄 高萩 勝見(澤渡)草野重雄 阿 部増雄 阿部安之 若松 要(三坂)荒川忠徳 吉田 名 永戸

雄一郎 會田忠喜 永山 卯三郎 佐藤博 柴田安 定 △永年勤績者(十九年)三坂 永山久助(十四年)高久鈴 木喜次郎(十一年)平井上 茂作(十一年)江名加澤一 造 △特別表彰 平消防組頭代 理柏原幸次郎

金馬簾

明日の聯合消防檢閲の好機 に金馬簾を授與さる、消防 組は本紙既報の如く左記五 組と決定した

自動車 協會の 大會次第

新舞子で地引網

既報来る十九日午前九時よ り平第三小學校に開催され る自動車協會縣下大會は仲 里警察部長外全員六百名參 集左記の順序により協議を 行ふと

△開會の辭 △協會長祝辭 △優良従業員表彰 △注意協議 △建議事項 △來賓者の祝辭 △受賞者惣代の答辭 尙當日は松ヶ岡公園にて慰 安會を催し翌廿日午前九時 自動車に分乘新舞子海岸に 至り漁船にて大浦海岸を周

平第二校の 自治會役員

小學校 に於ける自治會は既報の如 く昨日午後三時より開かれ たが今期の役員は左の如く 決定された

△會長稻邊ユキ△副會長 和田登美子△幹事近藤シ ヅイ、吉田愛子、桐谷ツ ネ、石山小夜子、江尻ミ ヤ子、石川秀、熊トリ子 飯島しげ子、町部トシ子 内田ハツ、松本節恵、木 田カクヨ、山崎ヒロ、荒 川ハナ、島田延子、富田 貞子、菊地雪子、鈴木芳 子、諸橋クニ、飯島ふみ

登記所主任會 平區 裁判所管内登記所主任會は 来る十六日午前九時より平 區裁判所會議室に於て行ふ が終つて午後一時より平法 曹團と合同し松ヶ岡公園に 於て觀櫻會を催すと

磐城女職員會議 磐城 高等女學校に於ける職員會 及び健康相談は從來不定期 に施行されてゐたが本年度 からは毎十曜日職員會、第 三土曜日健康相談と決定開 會すると

勿來共同販米 石城 郡勿來信用組合農業倉庫の 共同米販賣は十三日同所に 於いて五等七十俵、等外二 百卅俵、計三百俵を入札に 附した結果五等八圓六錢を 以つて全部湯本町入山炭礦 會社に落札された

募 一二勇士遺族の 甲慰金

嗚呼忠勇無比の三勇士何ぞ其の壯烈なりしぞ鬼神も 爲めに慟哭せむ、實に振古未曾有驚天動地の偉業に して人生を超越し洋の東西に冠絶す、古今英雄多し と雖も蓋し三勇士に如くものなからん宜なる哉其の 心情英雄以上の英雄なり、 今や同胞國を擧げて戦に赴かんとする誰か彼の三勇 士に感激せざるものあらむ殊に目下外交は危機に瀕 し東亞の風雲彌々急ならむとする秋、内は國民の士 氣を鼓舞し外は國家の威武を宣揚する誠に三勇士に 負ふ處甚だ大なるを痛感するなり、 名將曰く「吾が皇國も三勇士ありて亡びず」と真に 至言にして正に彼を弔ふ最大最高の弔辭なり、 然り彼等三勇士こそ日本軍人の龜鑑にして大和民族 發展の尊き犠牲者なり、 吾人は彼等殉國の忠誠を永遠に紀念し併せて千古不 磨の英靈を弔はん爲め彼の三勇士遺族へ薄志を饒け 以て聊か勇士の靈を慰んとす 愛國の士奮つて賛せられんことを

主唱 阿部政右衛門 後援 常磐毎日新聞社

一、弔慰金一人金拾錢均一に願ひます 二、右弔慰金は平驛前九ツ阿部石炭店又は常磐每 日新聞社に御届を乞ふ 三、寄附者芳名を常磐毎日新聞紙上に掲載領收書 に代ふ

Table with columns for names and amounts. Includes names like 中川ヨミ, 金谷清次郎, 大和田啓之助, 宗像アヤ, 櫻井盛信, 早川次郎, 新妻豊信, 石澤茂, 五色町, 谷平治一, 同サ, 同千代子, 小野寺明寛, 齊藤伊八, 同チヨノ, 同山謙, 同忠太郎, 同ナヲ, 若生ムメ, 青池トシ

産業博第一會場で

模型主機の競技大會

海軍省飛行機技術部の

小川格氏が來平指揮す

平驛前いづみや玩具店主催
郡下模型飛行機競技大會は
廿四日午前九時から産業博
内に開催される

同日大會は 今回で第三
回目には相當し参加者も非常
な意気込みである處から特
に海軍省飛行機技術部の小
川格氏を招き一切の指揮を
仰ぐ事になつた、同氏は本
邦飛行機界に於ける熱烈な

プログラムの依つて映畫を
上映する筈で特に同夜は江
名小學校生徒の「組合舞踊」
及童話劇「この世の極樂」が
人氣を呼ぶ事になつて居る
教育漫畫「蛙は蛙」 實寫
「美しき愛」

「騎兵教練」動像獎勵「虫
の世界」喜劇「金の行方」
猛獸狩「ザンバ」宣傳「新
生の村」教育漫畫「かう
もり」教化劇「丘」社會劇
「美しき愛」

研究者として命名高
く「模型飛行機の作り方」其
他飛行機に關する著書あり
東京模型機競技會の審査規
則は同氏の起草せるもので
あつて全國の競技會に其範
を示して居る今回の大會は
同氏を迎えて一層光彩を添
えるであらうと期待さる

産業組合

映畫の夕

十七日の夜に

本縣産業組合大會は既に
如く十七日平町に開催され
るが此の機會に産業組合の
趣旨を一般に普及せしめん
と同日午後六時から聚樂館
於て「映畫の夕」を催す由
であるが青沼平庶民金庫組
合長の開會の辭に次ぎ左記

菅の澤開通の

記念碑除幕式

關係者を招いて

來る廿日盛大に

平町菅の澤開鑿の偉功を後
世に傳ふべき記念碑は財界
不況の折柄に拘らず發起人
等の熱誠に依つて工事竣成
し昨年十二月同碑の選文揮
毫者たる巖谷小波氏の來平
を好機として同氏臨席の上
一先づ建碑式を擧げたが更
らに來る廿日午前十時より
開道功勞唯一の生存者吉村
喜代二氏を始め其他遺族及
び關係者寄附者等を招き盛
大な除幕式を擧行すべく佐
々木建設委員長、木澤研古
區長兩氏の名を以つて關係
各方面に案内狀を發した

製造所鎌吉商店平出張所大
木友己(三)方乾燥釜の殘火
が天上に燃移り正に大事に
至らんとしたのを附近の者

縣社境内の

作業清掃に奉仕

平第一校生徒が

平第一小學校にては縣社の
祭典の前に其の奉仕として
左の日に依り縣社内外の
清掃作業をなすと

平均卅五錢宛醸出する事に
なつた

洞穴の中に

屍體轉る

石城郡夏井村大字管波字永
井の八坂神社下洞穴内に昨
十三日午後五時頃七十才位
な乞食体の屍體あつたを通

發見平署に急報直に自動車
ポンプが駆付けたが發見が
早かつたので消火栓にて消
火し大事に至らなかつた

歸郷兵士歓迎

磐崎村歓迎會

石城郡磐崎村より今回の滿
洲事變に出征せる山砲兵佐
川大平及び芳賀嘉七の兩氏
は七日除隊となり此程歸郷
したので同村青年團では盛
大な歓迎會を小學校にて行
つた

怪しい老人

密行中取押

石城郡内郷村宇小島地内を
昨夜十一時頃徘徊する怪し
き老人あつたのを密行中の
平署佐久間警部補が取押へ
本署にて取調ると同村小島
居住無職福田信貞(五)で本
月初旬より同村内で窃盜十
件餘を働いた旨自白したの
で目下嚴重取調中である



今晚の部

後六、〇〇(子供の時間)
物語「乃木將軍」中根茂
吉
後七、三〇「爆彈三勇士の
歌發表音楽會狀況」仙臺
市公會堂より中繼
後九、三〇(奉天より)
後九、四〇(奉天より)
氣象通報 番組豫告

明日の部

前九、一〇料理献立「チ
キンオムレット」朝倉長
吉
前一〇、三〇家庭講座
「都市煤煙と日光線」東京
市衛生試験所技師有本邦
太郎
後〇、〇五「琵琶」教盛「萩

谷錦川
後二、〇〇趣味講座「朝
顔の行燈作り」(二)尾崎
哲之助
後六、〇〇子供の時間
獨唱とピアノ 獨唱眞作
照子 ピアノ 眞作佳夫
同鈴木一三子
後七、三〇講演「國家の
生命と靖國神社祭神」別
格官幣社靖國神社宮司加
茂百樹
後八、〇〇東をどり「伊
達委吾妻風俗」新橋演舞
場より中繼
後八、五〇連續講談「曉
屋五郎第一席」寶井翠凌
後九、三〇奉天より

必勝を

期して

庭球猛練習

既報好間古河炭礦第二新坑
起業完成記念關東北庭球大
會へ平商及平第一小學校か
らの出場選手は左記の如く
で何れも必勝を期し目下猛
練習中である

△平商業學校

- (小齊) 柚木 (安島)
- (木田) 齊藤 (鈴木次)
- (塚本) 小林 (鈴木)
- (鈴木) 岩佐
- △平第一小學校(職員)
- (小林) 松本 (水竹)
- (井上) 藤田 (根本)
- (松本) 榮
- (横田)

飯野兒童が

産業博見物

石城郡
飯野村
小學校では本十四日全校生
徒の春期遠足として松ヶ岡
公園の櫻、並に産業博覽會

磐女修學旅行

磐城

高等女學校四年生百四十名
は來る二十六日午後七時
にて田中、穴井、新妻、
皆川各教諭引卒の下に關西
方面へ修學旅行すると

鹽小賣役員會

平地
方鹽小賣人組合にては廿日
午前十時より磐城訓盲院に

開店の御挨拶

福島貯蓄銀行は眞の庶民金融として最
も簡便に貯金の機會を得て實行し得る
様各地に代理店を設置し着々よき成績
を擧げて居ります。我平町は海岸地方
に於ける經濟界の中心地にして往年各
位の御引立を蒙り相當の實績を見たの
で今般大藏大臣の認可を得まして左記
の處へ福島貯蓄銀行平支店を新設して
四月十四日より開業致しました
何卒多少に拘らず御引立の程を願上ま
す。

平町田町壹番地

株式 福島貯蓄銀行平支店

電話三〇八番

幕末剣士

【禁轉載上演及映畫】

悟道軒圓玉演 近藤紫雲畫

【第廿七席】 神影流の達人秋山要介 看板を人質代り

逸見多四郎の門人は秋山要介に向て
侍「折角のお越でございませが、師は不在にございませす」

甚「左様でございますか、逸見先生も折々何方へか遊びにお出になりますか、それでは町へでもお出懸になつたこと、存じます」

侍「誠に御氣の毒様で今以

侍「これは怪しからんそんな卑怯な事をいたす多四郎ではございません」

侍「へエ先生がお在になりましたか」



要「そんな所を尋ねて居る餘裕はない、俺はナ小紅屋甚次郎兵衛の許に泊つて居る逸見殿が戻つたならば知らせてくれ」

其日は経つた翌朝食事が終ると逸見の許へ出て来た

侍「これは秋山先生でございますか」

侍「これは狂人だ懲して遣る」

侍「どうだ名人の手の内を知り居つたか、この看板を持つて行くぞ」



淋病 皮膚病 婦人病 胃性 腸病 十二指腸 腸虫病 門專 院醫科 村松 七〇一話電

りん病 永らく悩む人の福音
天下の名湯別府温泉で出来た無効返金責任薬
商標 別府淋病

全國知名新聞 朝日、東京日々、大阪毎日、富士、雑誌 推奨 講談俱樂部、主婦之友廣告乞御參照
右は岩里家古來よりの家傳秘法薬にして男女血らし慢性淋病、こしけ、渦渦の病みは不思議に止り連服するも絶對胃腸傷害なき各葉であります
尙ほ此の薬は責任速効薬で二日内服して効なき時は殘薬引換に全部異議なく返金します
論より證據服薬した人は皆全快喜んで居ります。慢性、悪性の人は七日以上服差して下さい。慢
美本淋病治療書無代進呈 此の新聞各記入申込者に付前金申込者には送料無料、新品送薬す
代金引換廿三銭手数料金納の事
薬價 急性用(黒箱) 一週分 參圓 慢性用(赤箱) 一週分 五圓
特約一 手販賣 阿康藥舖 平町古鍛冶町一〇 縣社ノ下(電話四四番)

謹告
今般田町火災の際に類焼致し候爲め左記に於て一層の親切丁寧を旨として營業致す可く候間何卒御引立を賜り度御願ひ申上げ候
◎假營業所 平町田町丸新デパート内 根本時計店

貸切は●●●
セダン揃ひで 貸切専門の 昭和タクシーへ
電話 三三三